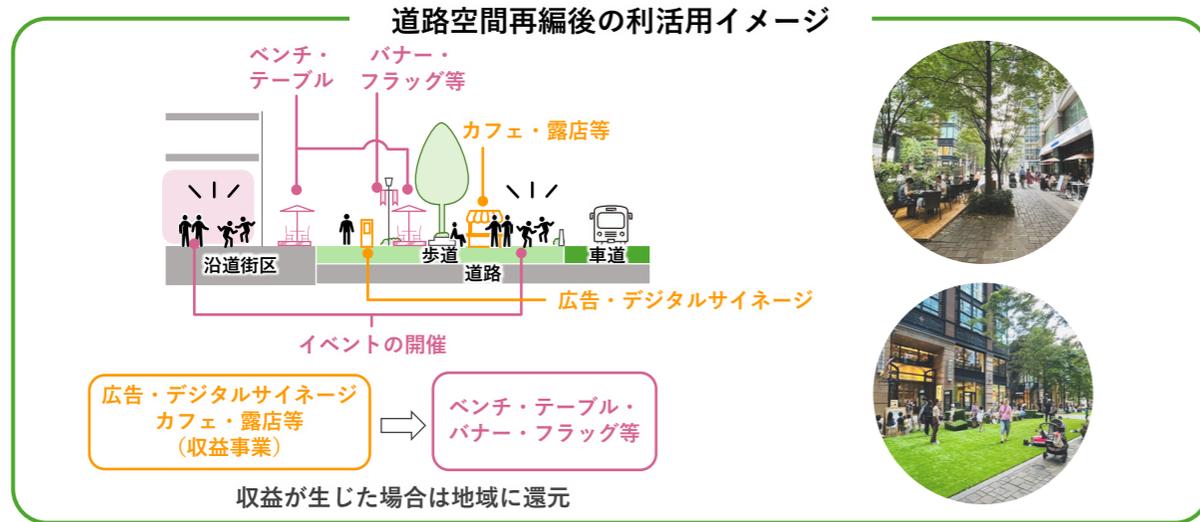


6. 今後の進め方

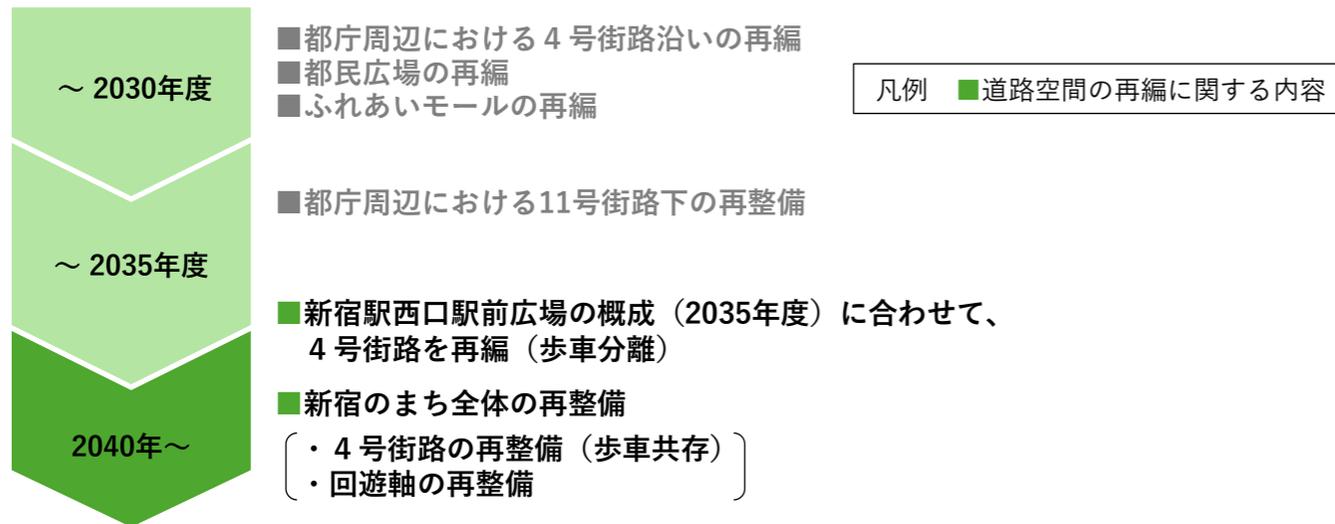
6-1 道路空間の利活用について

- 4号街路の目指す将来像を実現するために、官民連携による社会実験等を段階的に実施し、利活用の在り方を検証します。
- 自立的な維持管理に向けた官民の役割分担を整理し、効率的かつ持続可能な管理体制を検討していきます。



6-2 今後の進め方

- 4号街路の再編に当たっては、引き続き沿道街区の再整備・リニューアル、新宿駅西口駅前広場のデザイン、都庁周辺の空間再編及び新宿中央公園のリニューアル等と連携し、一体的な空間となるよう、沿道街区や地元のエリアマネジメント団体等と協働して取り組んでいきます。
- 新宿駅西口駅前広場の概成（2035年度）と合わせて4号街路の再編を進めていきます。
- 沿道街区が再整備・リニューアルする場合には、本デザインコンセプトを踏まえ、統一感のあるデザインとなるよう適切に誘導し、道路と沿道街区が一体となった空間形成に取り組んでいきます。



【問合せ先】

東京都都市整備局都市基盤部街路計画課
東京都新宿区西新宿二丁目8番1号
電話 03(5388)3292



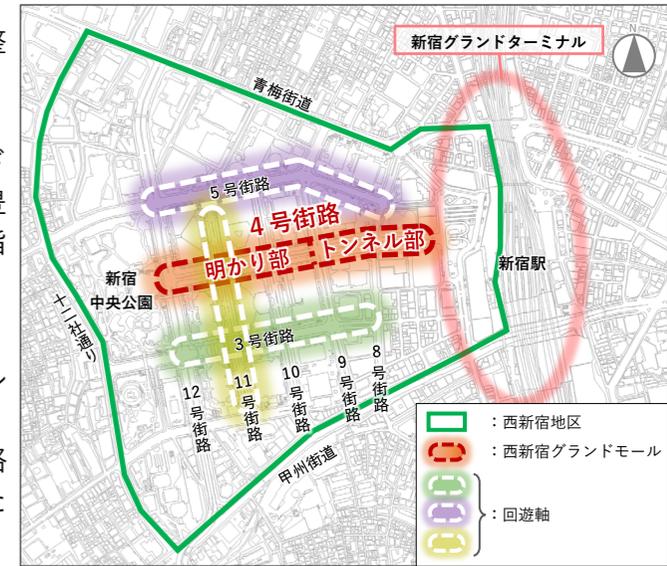
▲東京都都市整備局HP

本書に掲載した地図は、東京都縮尺1/2,500地形図を使用（7都市基交第1509号）して作成したものである。無断複製を禁ずる。この地図の著作権は、東京都及び株式会社ミッドマップ東京に帰属する。

1. はじめに

デザインコンセプト策定の背景・目的

- 「西新宿地区再整備方針」及び「西新宿地区再整備ガイドライン」（以下「ガイドライン」という。）において、4号街路は「西新宿グランドモール」として位置付けており、「新宿グランドターミナルから新宿中央公園をつなぎ、人々の豊かな活動が生まれる象徴的な賑わい空間」を目指し、2030年代から2040年代にかけて、再整備を進めることとしています。
- 本デザインコンセプトは、西新宿グランドモールの2030年代の道路空間の再編に向けて、ガイドラインで示した取組を具体化するとともに、道路空間と沿道街区が一体となった空間再編に向けた方向性を示すものです。



2. 目指す空間像

4号街路が目指す空間像

沿道街区と連携し、
国際的な拠点に
ふさわしい風格ある
ストリートを形成する

まち全体をつなぎ、
歩きやすさと楽しさ
を生み出す

誰もが心地よく
この場所で
活動・交流する



デザインの考え方

WEST × Street 西新宿を象徴する、人が主役のストリートへの再編

Walkable × Street まちの魅力をつなぎ合わせ、回遊性・連続性を生み出す

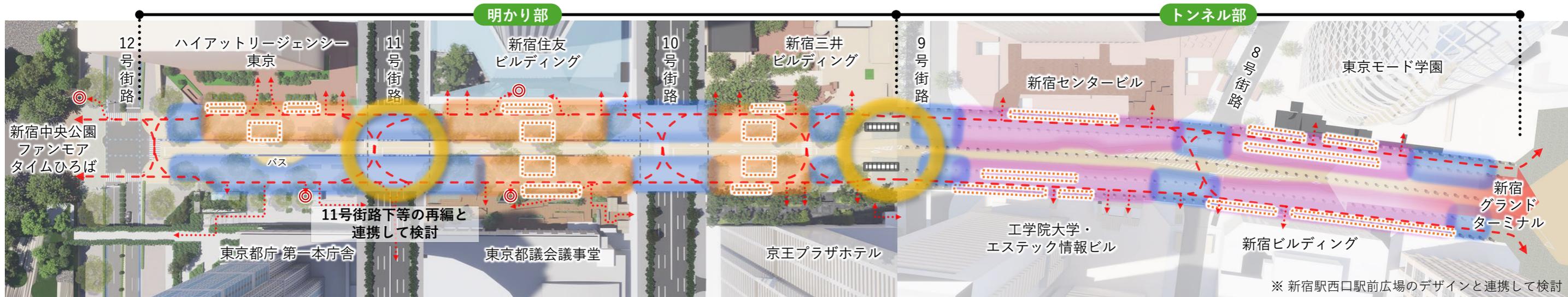
Everyone × Street 沿道街区と連携し、誰もが楽しめる賑わい・滞在・彩りの場となる

Sustainable × Street 街路の風格を継承するとともに、持続可能な環境をつくる

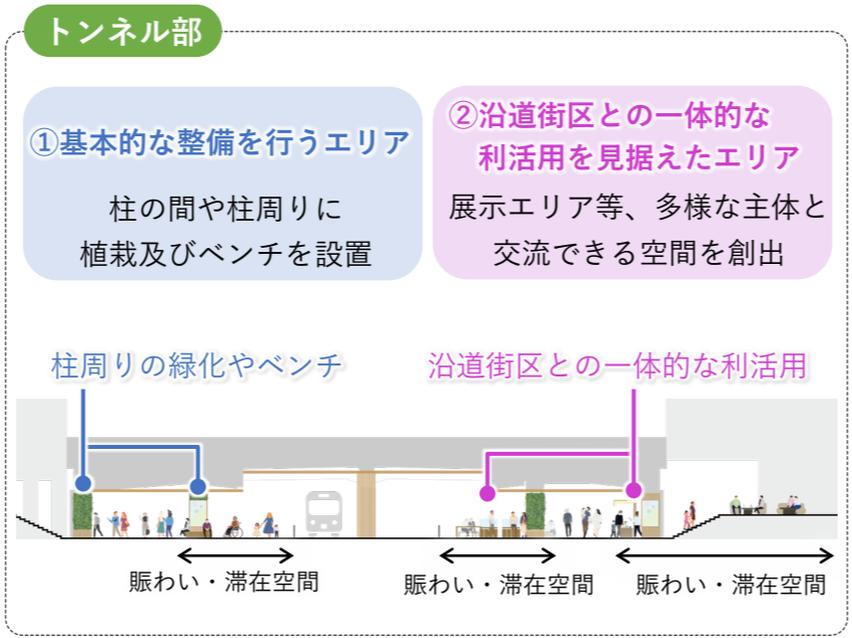
Try × Street 上記を通じて西新宿グランドモールでの新たな取組を促す

3. ゾーニングの考え方

- 道路内に賑わい・滞在空間を創出するとともに、楽しみながら歩ける柔らかな歩行者動線を設け、回遊性の向上を図ります（基本的な整備を行うエリア）。
- 沿道街区との一体的な利活用を見据えたエリアを設定し、沿道と連携した賑わい・滞在空間を創出します。



施設配置の考え方



5. 将来イメージ



4. デザインの考え方

- 舗装** (風格・持続可能 賑わい): 街路の風格を生かすとともに、みどりや利活用と調和した舗装の素材及び色彩
- 照明** (風格・持続可能 賑わい): 風格のある良好な景観を形成するとともに、他の施設と統一感を図りやすいデザイン
- 植栽** (風格・持続可能 賑わい): 道路空間に彩りや豊かさをもたらすと同時に、四季の変化を感じられる植栽
- ベンチ・テーブル** (風格・持続可能 賑わい): 誰もが賑わい・滞在しやすい空間を創出する、素材感を生かしたシンプルなデザイン
- 立体結節空間** (回遊・連続): 立体的な都市構造を結び、駅からの誘引性を高めるアイコンとしての視認性の高いデザイン
- 横断抑止** (電気・給水設備など): 柔軟な設え・配置とともに、周囲の施設と整合のとれたデザイン

：デザインの考え方の詳細は、デザインコンセプトの本編に記載されております。

※パースは完成予想のイメージであり、関係機関との協議の中で変更となる場合があります。